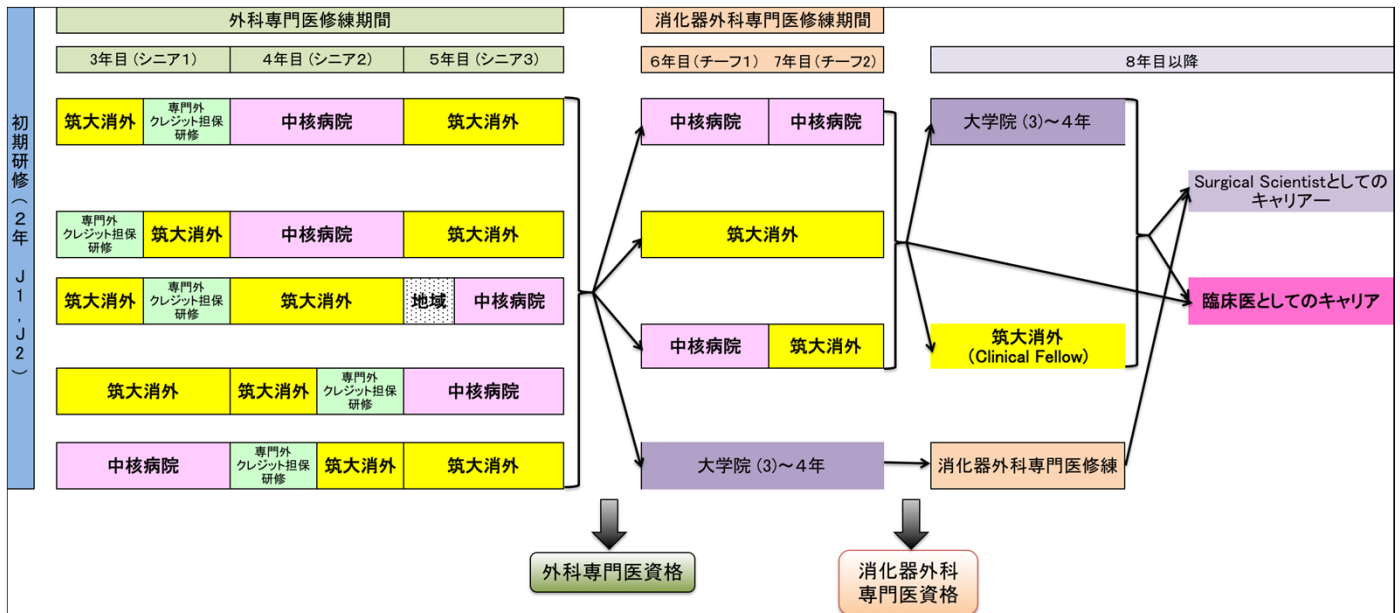


消化器外科コース

特徴

多彩な臓器、疾患を守備範囲とする消化器外科医は、常に病院の中心的な存在です。消化器疾患の手術技術の習得はもとより、画像読影、診断手技、輸液・栄養管理、呼吸器管理、感染症対策など、全身管理が出来る総合医としての能力が養われます。さらに、基礎研究、先進医療開発を行う大学院教育を通じて、論理的な物の考え方を植え付けます。大学を中心とするSurgical Scientistとしての活動、高度機能病院で高難度手術への関与、地域病院で総合的な外科臨床医としての医療など、将来の幅広い活躍の場に対応します。

モデルプラン



【解説】 外科専門医資格を取得するまでの3年（場合によっては4年）の内、1年6ヶ月は基幹病院である筑波大学附属病院消化器外科で研修を行う。消化器外科以外の規定症例クレジットを担保する為に、他科のローテーションを6ヶ月まで認める（3年間のうち、1-2年目の早い時期に修め、後半は消化器外科研修に集中する事が望ましい。）地域医療への外科診療の役割を習熟し、実行出来る様に、地域病院での研修を組み込むことも可能。

学術研究を通じて、論理的な思考過程をトレーニングする大学院進学は、外科専門医取得後早期と、消化器外科専門医取得後の2つのタイミングで選択する事が出来る。早期に大学院に進学した場合、その後消化器外科専門医資格を取得する臨床研修を行う。

大学院に進学しない専攻医の場合、8年目以降にクリニカルフェローとして主に臨床研究を行い、学術的思考をトレーニングする。

- ＝中核病院＝ 【茨城県北地区】 日製ひたちなか総合病院・日製日立総合病院
- 【水戸地区】 水戸協同病院・茨城県立中央病院・国立水戸医療センター
水戸済生会総合病院・水戸赤十字病院・水戸中央病院
- 【茨城県南】 国立霞ヶ浦医療センター・つくばセントラル病院・筑波学園病院
筑波メディカルセンター・龍ヶ崎済生会病院・筑波記念病院
つくば双愛病院・総合守谷第一病院
- 【茨城県西地区】 友愛記念病院・西南医療センター病院
- 【茨城県外】 国立がん研究センター東病院・聖隷佐倉市民病院
埼玉県立がんセンター など

- ＝地域病院＝ 小山記念病院・常陸大宮済生会病院・筑西中核病院、神栖／鹿島中核病院
高萩協同病院 など